

4. 中国映像センター 事業計画書

目次

I. エグゼクティブサマリー

1. 事業主体
2. サービス内容
3. 事業体制
4. スケジュール
5. 投資額
6. 売り上げ
7. 通信利用

II. 事業コンセプト

1. 新規性
2. 市場性、成長性
3. 競合性

III. 事業計画

1. 販売計画
2. 購入計画
3. 設備投資経費計画
4. 人員計画

IV. 財務計画

1. 損益計画
2. 資金計画

I. エグゼクティブサマリー

1. 事業主体

民間。

2. サービス内容

1) 中国映像

あらゆるジャンルの中国関係の静止画動画を集めた拠点を作り、自由にそれらを引き出すことにより日本における中国の理解を深めることに資する。

- i) 観光、ビジネス、文化、エンターテインメント、学問等に関する静止画、動画を集積し、個人法人に有料無料の提供を行う。有料とはライセンス販売を指す。
- ii) ユーザからのアクセスは、基本はインターネットとする。配布は、インターネット（JPEG やFlash ストリーミングなど）また CD や DVD によるメディアの配送とする。
- iii) 映像画像を様々な角度から探しやすいような検索方法を用意する。
- iv) このサイトに来れば中国関係の画像がかなりそろっている、と言われるようなものにする。また既存のサイトにない類のデータも用意したい。画像に付随する文字等によるデータも集積する。
- v) 画像映像の集め方として、
 - a) 中国の画像映像を持っている組織と提携する。また中国の写真専門学校と提携する。これらを中国側協力会社を通して行なう。
 - b) 個人が画像映像を持ち寄ることで成功している U-tube 方式のような個人からのアップロードによる無料視聴。
- vi) したがって日本語と中国語のサイトを用意する。

2) 日本映像

一方、日本の風俗習慣、伝統文化を記録として保存し、広く世界に紹介していくことにも力点をおく。

したがってこれについては日本語、英語、中国語のサイトを用意する。

3) 付加サービス

また付加サービスとして、映像の加工や変換をサービスとして行う。たとえば電子アルバム作成やカスタムメイドの額縁の販売を行う。

3. 事業体制

出資を募り会社を設立する。

映像を収集する中国側の協力会社を確保する。現在ポータルサイトを持っている協力会社を想定する。

4. スケジュール

半年から1年で事業化企画調査を行い、収益性を確認してから事業を開始する。当初静止画から開始し、2年度目くらいから映像も加える。

5. 投資額

- 1) 出資金は企画段階で30百万円。
- 2) 事業化に際し40百万円。
- 3) 資本金を超える必要事業費は銀行借入れ。

6. 売り上げ

事業化後：

- | | |
|--------|---------|
| 1) 初年度 | 25 百万円 |
| 2) 2年度 | 50 百万円 |
| 3) 3年度 | 90 百万円 |
| 4) 4年度 | 100 百万円 |

売り上げには、サイト上の広告、画像映像提供社からの著作権販売手数料、音楽などの配信事業による売り上げを含む。

7. 通信利用

インターネット web による映像配布と販売。

- 1) 画像のショールーム、検索機能。動画のショールーム、ストリーミング機能。
- 2) Web サイトで受け付けた配送依頼の CD/DVD を発送するセミ自動プロセス。

II. 事業コンセプト

1. 新規性

現在中国語、英語、日本語の色々なサイトに中国関連の画像映像データが載っており、有料販売も報道写真を中心に一部行われている。ただし中国映像専門は見当たらない。このサイトに来れば他サイトへのリンクも含めて欲しいもの、またそれに近いものが見つかるという、独自性を出したい。

2. 市場性、成長性

企画段階で中国人の好みそうなモダンでファッショナブルなサイトの構成を把握する。内容は、日常社会生活、学問、エンターテインメント、報道、を充実させ、良質なものを有料とする。個人なりのユーザが web にアップするものは誰でも閲覧できる Utube 様式とする。良質なものを集めれば新規性として市場は存在するであろう。

3. 競合性

ジャンルによって有料無料の写真をそろえているサイトは映像サイトと標榜していなくても沢山ある。ただし広いジャンルで中国関係を統合しているようなサイトは見当たらない。

III. 事業計画

1. 販売計画

1) 売上高計画額

初年度販売	web 広告	5,000	合計 25,000 千円
	著作権手数料	20,000	
2 年度	web 広告	20,000	合計 50,000 千円
	著作権手数料	30,000	
3 年度	web 広告	50,000	合計 90,000 千円
	著作権手数料	40,000	
4 年度	web 広告	60,000	合計 100,000 千円
	著作権手数料	40,000	

2) マーケティング戦略

- i) あらゆる手段を使って画像映像を集め、範囲、量とも豊富であることを誇れるようにする。
- ii) 中国ポータルサイトの協力会社との関係を密にし、新規のソースの開拓に協力を求める。

2. 購入計画

原則的に画像映像の購入支払いはなく、有料販売は著作権ライセンス扱いとする。

3. 設備投資経費計画

1) 企画会社

i) 経費

- a) 事務所、事務経費 年間 4000 千円
- b) 調査費 年間 5000 千円

ii) 設備投資

なし。

2) 事業会社

i) 経費

a) 事務所、事務経費年間	6000 千円
b) 宣伝、営業費等	
- web 制作運用費年間	6,000 千円
- 宣伝、営業費年間	5,000 千円
- 中国業務委託費年間	6,000 千円

ii) 設備投資

なし

4. 人員計画

1) 企画会社

年間 23,000 千円

2) 事業会社

初年度	年間 28,000 千円
2年度	年間 33,000 千円
3年度	年間 48,000 千円
4年度	年間 48,000 千円

IV. 財務計画

1. 損益計画

4. 中国映像センター損益計算書		単位千円				
		企画会社	事業会社			
年度		1	2	3	4	5
売上高		0	25,000	50,000	90,000	100,000
	(web広告)		5,000	20,000	50,000	60,000
	(著作権手数料)	0	20,000	30,000	40,000	40,000
売上原価		0	0	0	0	0
売上総利益		0	25,000	50,000	90,000	100,000
販売費&一般管理費		32,000	55,000	62,000	79,000	79,000
営業利益		-32,000	-30,000	-12,000	11,000	21,000
営業外収益						
営業外費用			500			
経常利益		-32,000	-30,500	-12,000	11,000	21,000
特別利益						
特別損失						
税引き前当期利益		-32,000	-30,500	-12,000	11,000	21,000
法人税等		0	0	0	0	0
当期利益		-32,000	-30,500	-12,000	11,000	21,000
株主配当						
累積損益		-32,000	-62,500	-74,500	-63,500	-42,500

2. 資金計画

4. 中国映像キャッシュフロー計算書					単位千円
年度	企画会社	事業会社			
	1	2	3	4	5
営業CF					
税引き前利益	-32,000	-30,500	-12,000	11,000	21,000
減価償却費					
流動資産増加					
流動負債の増加					
支払い利息		500	500	500	500
受け取り利息					
運転資本増加					
法人税	0	0	0	0	0
株主配当	0	0	0	0	0
計	-32,000	-30,000	-11,500	11,500	21,500
投資CF					
固定資産取得					
固定資産売却					
有価証券取得					
有価証券売却					
計	0	0	0	0	0
財務CF					
借入金	10,000				
借入金返済					10,000
利子支払い		500	500	500	500
株式の発行	30,000	40,000			
計	40,000	39,500	-500	-500	-10,500
現金および現金同等物の増減	8,000	9,500	-12,000	11,000	11,000
現金および現金同等物の期首残高	0	8,000	17,500	5,500	16,500
現金および現金同等物の期末残高	8,000	17,500	5,500	16,500	27,500

5. 街頭 24H 映像 事業計画書

目次

I. エグゼクティブサマリー

1. 事業主体
2. サービス内容
3. 事業体制
4. スケジュール
5. 投資額
6. 売り上げ
7. 通信利用

II. 事業コンセプト

1. 新規性
2. 市場性、成長性
3. 競合性

III. 事業計画

1. 販売計画
2. 設備投資経費計画
3. 人員計画

IV. 財務計画

1. 損益計画
2. 資金計画

I. エグゼクティブサマリー

1. 事業主体

民間。ただし、場所の提供、広報などに公が便宜を図る部分があるものとする。

2. サービス内容

中国大都市（北京や大連）の繁華街と北九州市の繁華街双方におかれた大スクリーンと TV カメラと音響装置により、街の様子を映し出すことで両国市民の親近感と興味を増大させる。

- 1) ハイビジョンカメラを北京、天津、大連などの繁華街に据え、対照的に北九州の繁華街にもカメラを据える。
- 2) 24 時間街中の様子が映像と音声で映し出される。お互いに道行く人がリモートでカメラのズームや方向を操作できる。
- 3) 画面は 400 インチ程度とする（400 インチを作成するのではなく既存の 100 インチを 4x4 枚あわせる。出来上がり約 9mx5m）。
- 4) 画面を分割して数箇所が同時に映されるように、ローカルで選択できるようにする。
- 5) 映像専用線回線帯域は 45Mbps 程度、またはそれより多少小さい帯域になる。これはハイビジョン 2ch を同時に流せる帯域である。
- 6) 画面に宣伝やスポンサー映像を入れる。また他地域や TV 局とつないで適宜国際的に他のリアルタイム映像やアーカイブを流す。

3. 事業体制

出資を募り企画会社を設立する。

中国側対応事業者とスポンサーを獲得する。基本的に 1 箇所 1 対応事業者を探す。

収益性ありとの判断が得られた時点で事業会社に切替える。

4. スケジュール

半年から 1 年で事業化企画調査を行い、コスト、スポンサーなど収益性を確認して事業会社に切替える。

初年度対中国 1 都市、次年度対中国 2 都市。

5. 投資額

- 1) 企画段階において 1 口 100 万円（30 口）。
- 2) 事業化に際し 1 口 100 万円（合計 60 口）。

6. 売り上げ

- | | |
|--------|-----------|
| 1) 初年度 | 年間 20 百万円 |
| 2) 2年度 | 年間 50 百万円 |
| 3) 3年度 | 年間 50 百万円 |
| 4) 4年度 | 年間 50 百万円 |

売り上げの中には日本側のみの売り上げを計上している。

7. 通信利用

北九州を含み 3 拠点を相互に 45Mbps の TV 映像メニュー回線で結ぶ。

II. 事業コンセプト

1. 新規性

最近街角のビルの壁面に、直射日光が当たっても可視可能な大きな LED のディスプレイがかけられ、動画の宣伝や情報を歩行者に提供することが盛んである。

これを国際間に拡張し、場所はもう少し明るさの低いところとし、ディスプレイは高精彩の液晶またはプラズマを使用し、各街の様子を 24H 映し出す。カメラは各都市の繁華街に設置され 24 時間使用される。内容は、リモートで自由に繰れるものであり、街の景色や人々の動き、顔の表情などである。

2. 市場性、成長性

当事業は利益を追求するものではなく、HD レベルのきれいな映像で外国の街の風景を流し、互いに直接会話したり、顔を覗き込んだりするということに存在意義がある。これに随時宣伝または TV プログラムを流して、運用経費をまかなうことを計画する。

宣伝は国内向けと外国向けがある。

3. 競合性

なし。

III. 事業計画

1. 販売計画

1) 売上高計画額

以下の販売額は宣伝による日本側の収入である。

初年度販売	20,000 千円
2 年度	50,000 千円
3 年度	50,000 千円
4 年度	50,000 千円

視聴人口は 1 日あたり北九州側 2 万人、中国側 1 都市 5 万人。

2) マーケティング戦略

i) 宣伝は国内向けと中国向けが有り、フル画面または 4 分の 1 画面を受信側が自由に選択できるものとする。

ii) 現地対応事業者の活動がキーである。北九州側が望む中国の街の映像以外の映像を現地業者に伝える。逆にどのような画面に中国の街の人々が喜ぶか常に報告をもらう。

2. 設備投資経費計画

1) 企画会社

i) 経費

a) 事務所、事務経費年間	4000 千円
b) 調査費年間	5000 千円

ii) 設備投資

なし。

2) 事業会社

基本的に設備所有運用会社である。

i) 経費（北九州 1 事業会社のみ）、

a) 事務所、事務経費

年間 4000 千円

b) 回線賃借料 初年度年間 4000 千円（45Mbps x 半回線）

次年度年間 8000 千円（半回線 x 2）

- c) 設備保守料 4000 千円
- d) 電気代 年間 5000 千円
- e) 場所代 繁華街無料提供を予想。

ii) 設備投資

- a) HDTV カメラ（リモートコントロール付き）。
- b) 100 インチ x4 の 9mx5m 程度の HDTV スクリーン。
- c) 音響マイク、スピーカ。
- d) 画面分割装置とそれらへの制御装置と入力ルート。
- e) (商業) TV 局からのリアルタイムやアーカイブ映像の引き込みインターフェース。
- f) 中国への映像専用線への映像/伝送インターフェース機器（通信業者が提供かも知れない）。

工事費込み 1 箇所合計 40,000 千円

3. 人員計画

1) 企画会社

年間 18,000 千円

2) 事業会社

年間 23,000 千円

IV. 財務計画

1. 損益計画

5. 街頭24H映像損益計算書						単位千円
年度	企画会社		事業会社			
	1	2	3	4	5	
売上高	0	20,000	50,000	50,000	50,000	
売上原価	0	0	0	0	0	
売上総利益	0	20,000	50,000	50,000	50,000	
販売費&一般管理費	27,000	40,000	44,000	44,000	44,000	
営業利益	-27,000	-20,000	6,000	6,000	6,000	
営業外収益						
営業外費用			500			
経常利益	-27,000	-20,000	5,500	6,000	6,000	
特別利益						
特別損失						
税引き前当期利益	-27,000	-20,000	5,500	6,000	6,000	
法人税等	0	0	0	0	0	
当期利益	-27,000	-20,000	5,500	6,000	6,000	
株主配当						
累積損益	-27,000	-47,000	-41,500	-35,500	-29,500	

2. 資金計画

5. 街頭24H映像キャッシュフロー計算書					単位千円
年度	企画会社	事業会社			
	1	2	3	4	5
営業CF					
税引き前利益	-27,000	-20,000	5,500	6,000	6,000
減価償却費		3,000	3,000	3,000	3,000
流動資産増加					
流動負債の増加					
支払い利息			250		
受け取り利息					
運転資本増加					
法人税	0	0	0	0	0
株主配当	0	0	0	0	0
計	-27,000	-17,000	8,750	9,000	9,000
投資CF					
固定資産取得		40,000			
固定資産売却					
有価証券取得					
有価証券売却					
計	0	-40,000	0	0	0
財務CF					
借入金		5,000			
借入金返済			5,000		
利子支払い	0	0	250	0	0
株式の発行	30,000	60,000			
計	30,000	65,000	-5,250	0	0
現金および現金同等物の増減	3,000	8,000	3,500	9,000	9,000
現金および現金同等物の期首残高	0	3,000	11,000	14,500	23,500
現金および現金同等物の期末残高	3,000	11,000	14,500	23,500	32,500

6. 総合ショッピングレジヤーマール 事業計画書

目次

I. エグゼクティブサマリー

1. 事業主体
2. サービス内容
3. 事業体制
4. スケジュール
5. 投資額
6. 売り上げ
7. 通信利用

II. 事業コンセプト

1. 新規性
2. 市場性、成長性
3. 競合性

III. 事業計画

1. 販売計画
2. 購入計画
3. 設備投資経費計画
4. 人員計画

IV. 財務計画

1. 損益計画
2. 資金計画

I. エグゼクティブサマリー

1. 事業主体

民間。

2. サービス内容

中国消費者へのwebを利用した日本のレジャー商品/製品販売、ゲーム音楽配信など、中国の嗜好に合わせたよりリッチなオンラインアミューズメントモールを提供する。

3. 事業体制

出資を募り会社を設立する。

中国側の協力会社を確保する。配送監視、クレーム処理、料金回収などを担う。

4. スケジュール

半年から1年で事業化企画調査を行い、収益性を確認してから事業を開始する。

5. 投資額

1) 出資金は企画段階で30百万円。

2) 事業化に際し50百万円。

3) 資本金を超える必要事業費は銀行借り入れ。

6. 売り上げ

事業化後：

1) 初年度 27百万円

2) 次年度 140百万円

3) 第3年度 190百万円

4) 第4年度 420百万円

売り上げには、サイト上の広告、商品提供社からの販売手数料、音楽などの配信事業による売り上げを含む。

7. 通信利用

インターネットによるWEB販売

II. 事業コンセプト

1. 新規性

中国語による商品 web 販売は大体が素っ気のない商品羅列のサイトである。音楽配信、映像配信、アバターを使っての仲間とのチャット、などあらゆるアミューズメントの殿堂のような web サイトを作製し顧客を集め、日本商品販売を行う。

2. 市場性、成長性

企画段階で中国人の好みそうなモダンでファッショナブルなサイトの構成を把握する。下記にあるような既存のサイトもあるが、一味違った魅力のあるサイトにして若い人を惹き付けければ、中国の日本製品に対する執着はまず消えないと思われることから、市場性大と思われる。

3. 競合性

現在中国内で日本製品を販売する場を提供している web は、アリババグループの淘宝网、Eachnet が有り、これらは小さな中国資本の商店が少し遅れた日本商品を少しずつあげている場である。

第 2 の形態として、日本市場という大きなエリアを中国のサイト内で確保して目を惹かせているのは SINA や UCmall であり、日本の販売企業はそのエリアのオーナーとして表に出ている。

第 3 の形態として、最近中国のサイトの中ではなく日本側にサイトを置き、中国側業者として中国郵政公社と使って提供しているものが、日本郵便の始めた JapaNavi である。

本ショッピングレジャーモールは、上記既存サイトとは異なり、若人向けの全てのレジャー、またはレジャー情報を取り扱いして集客し、日本商品を販売するサイトである。

III. 事業計画

1. 販売計画

1) 売上高計画額

初年度販売	web 広告	3,000	合計 27,000 千円
	商品販売手数料	20,000	
	他音楽映像等販売手数料	4,000	
2 年度	web 広告	20,000	合計 140,000 千円
	商品販売手数料	100,000	
	他音楽映像等販売手数料	20,000	
3 年度	web 広告	50,000	合計 190,000 千円
	商品販売手数料	100,000	
	他音楽映像等販売手数料	40,000	
4 年度	web 広告	70,000	合計 420,000 千円
	商品販売手数料	200,000	
	他音楽映像等販売手数料	150,000	

2) マーケティング戦略

- i) 日本の匂いとリッチさを撒き散らしたサイトに徹する。
- ii) レジャーを念頭に置く。
- iii) 支払いは銀聯を含むクレジットカードとする。
- iv) 中国側協力会社から常に中国の若者に人気のある商品の情報を得る。
- v) 中国国内でのサイト存在認知度を高める方法を企画調査段階で模索する。

2. 購入計画

販売商品、音楽映像などは販売時点でのコミッションを収入とし原則的に購入費用はないものとする。

3. 設備投資経費計画

1) 企画会社

i) 経費

- a) 事務所、事務経費 年間 4000 千円
- b) 調査費 年間 5000 千円

ii) 設備投資

なし。

2) 事業会社

i) 経費

- a) 事務所、事務経費年間 6000 千円
- b) 宣伝、営業費等
 - web 製作運用費年間 6,000 千円
 - 在中国企業販売委託費年間 商品販売手数料 x20%
 - 宣伝、営業費年間 5,000 千円

ii) 設備投資

なし。

4. 人員計画

1) 企画会社

年間 23,000 千円

2) 事業会社

初年度	年間 23,000 千円
次年度	年間 28,000 千円
3年度	年間 48,000 千円
4年度	年間 60,000 千円

IV. 財務計画

1. 損益計画

6. 総合ショッピングレジジャーモール損益計算書						単位千円
年度	企画会社		事業会社			
	1	2	3	4	5	
売上高	0	27,000	140,000	190,000	420,000	
	(web広告)		3,000	20,000	70,000	
	(商品販売)	0	20,000	100,000	200,000	
	(楽曲等販売)		4,000	20,000	150,000	
売上原価	0	0	0	0	0	
売上総利益	0	27,000	140,000	190,000	420,000	
販売費&一般管理費	32,000	44,000	65,000	85,000	117,000	
営業利益	-32,000	-17,000	75,000	105,000	303,000	
営業外収益						
営業外費用		500				
経常利益	-32,000	-17,500	75,000	105,000	303,000	
特別利益						
特別損失						
税引き前当期利益	-32,000	-17,500	75,000	105,000	303,000	
法人税等	0	0	10,200	42,000	121,200	
当期利益	-32,000	-17,500	64,800	63,000	181,800	
株主配当				50,000	50,000	
累積損益	-32,000	-49,500	15,300	28,300	160,100	

2. 資金計画

6. 総合ショッピングレジャーモールキャッシュフロー計算書					単位千円
	企画会社		事業会社		
年度	1	2	3	4	5
営業CF					
税引き前利益	-32,000	-17,500	75,000	105,000	303,000
減価償却費					
流動資産増加					
流動負債の増加					
支払い利息		500			
受け取り利息					
運転資本増加					
法人税	0	0	10,200	42,000	121,200
株主配当	0	0	0	50,000	50,000
計	-32,000	-17,000	64,800	13,000	131,800
投資CF					
固定資産取得					
固定資産売却					
有価証券取得					
有価証券売却					
計	0	0	0	0	0
財務CF					
借入金	5,000				
借入金返済		5,000			
利子支払い		500			
株式の発行	30,000	50,000			
計	35,000	44,500	0	0	0
現金および現金同等物の増減	3,000	27,500	64,800	13,000	131,800
現金および現金同等物の期首残高	0	3,000	30,500	95,300	108,300
現金および現金同等物の期末残高	3,000	30,500	95,300	108,300	240,100